

「自立と体験 1」 スチューデント・アシスタントと 社会人基礎力について

滝 井 寛*
鈴 木 浩 子**

2006年に経済産業省が発表した「社会人基礎力¹」(※)は、現在も注視されており、同省産業人材育成室(2018)では、「新・社会人基礎力」として、その重要性を以下のように述べている。

「人生100年時代の社会人基礎力²」は、これまで以上に長くなる個人の企業・組織・社会との関わりの中で、ライフステージの各段階で活躍し続けるために求められる力と定義され、社会人基礎力の3つの能力／12の能力要素を内容としつつ、能力を発揮するにあたって、目的、学び、組合せのバランスを図ることが、自らキャリアを切りひらいていく上で必要と位置付けられる。

(経済産業省産業人材育成室、2018)

(※) 社会人基礎力：3つの能力／12の能力要素

1. 前に踏み出す力(アクション)

主体性、働きかけ力、実行力

2. 考え抜く力(シンキング)

課題発見力、計画力、創造力

3. チームワークで働く力(チームワーク)

発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力、規律性、ストレスコントロール力

「自立と体験 1」は教職協働による科目であるが、先輩学生によるスチューデント・アシスタント(以下、「SA³」とする)の協力も欠かせない。同時に、SAがSA業務を通して学ぶことを目指しており、それは、教職員からの指導だけでなく、SA自らが業務を通して学ぶ意識を持つこと、体験的に学ぶことも重要な目標のひとつである。

そこで、『明星教育センター紀要10周年特集号』に合わせ、卒業生を中心に、過年度においてSA経験のある卒業生(卒業後8年以内)および在学生に、社会人基礎力についてアンケート調査(別紙1)を行った。卒業後、大学との交流のない卒業生も多いため、約500名の対象者から10%程度の回答回収(卒業生36名、在学生13名)にとどまった。それでも、本アンケート調査結果は、SA経験者自身の成長だけでなく、明星教育センター(以下、MEC)が、今後のSA指導・教育を行う上で十分参考となると考える。

1. 社会で求められる能力・スキル：企業と学生の意識のギャップ

SA経験者の状況の前に、経済産業省調べによる企業と全国の学生の意識のギャップを確認しておく。同省による『大学生の「社会人観」の把握と「社会人基礎力」の認知度向上実証に関する調査』(2010)では、

* 明星教育センター常勤教授

** 明星教育センター常勤教授

以下のポイントが報告されている。

- ・ 企業が「学生に求める能力要素」と、学生が「企業で求められていると考える能力要素」には大きな差異が見られる。
- ・ 企業が学生に対し「主体性」「粘り強さ」「コミュニケーション能力」といった「社会人基礎力」に類する内面的な能力要素の不足を感じている一方、学生はそれらの能力要素への意識は低く、「自分は既に身につけている」と考える傾向が見られる。
- ・ 学生は「語学力」「業界に関する専門知識」「簿記」「PCスキル」等の不足感を感じている一方、企業側はそれらの能力要素に対し特に不足感を感じていない。
- ・ 企業・学生ともに「社会人基礎力」3つの能力の中では、「前に踏み出す力」、12の能力要素の中では、「実行力」を重視。

その後、このポイントに関して修正発表のないことから、現在も意識の差があると考えてよいであろう。以上のことを踏まえつつ、本学 SA 経験者の社会人基礎力について、報告したい。

2. SA 経験者アンケート結果

2.1 SA 経験者が必要と思う社会人基礎力能力要素について

SA 経験者は、社会人基礎力の12の能力要素全てに総じて重要性を認めている。ここでは、卒業生、在学生別に回答を確認し、認識の差が存在するか検証したい。

企業が求める「主体性」については、SA 経験のある卒業生も重要であると認識している。しかし、同じく企業が求め、且つ全国の多くの学生に足りないと思われる「チームワーク力」にあたる「発信力」以下の6能力要素において、経済産業省の調査(2010)にあるような重要性の認識に差はあまりない。特に、在学生より卒業生のほうが、「チームワーク力」の重要性を高く上げている。これは、社会人となった卒業生は、企業人としての感覚が養われ始めていると想像できる。

表1：SA 経験者が必要と思う社会人基礎力能力要素
卒業生および在学生(全体)

	今現在、必要と思う能力要素 (%)											
	主体性	働きかけ力	実行力	課題発見力	計画力	創造力	発信力	傾聴力	柔軟性	状況把握力	規律性	ストレスコントロール力
1 重要でない	0	0	0	0	0	2.1	2.1	0	0	0	0	2.2
2 やや重要でない	0	2.1	0	0	0	6.4	0	0	2.2	0	0	0
3 普通	2.1	6.4	14.9	6.4	11	23.4	0	2.1	8.9	10.6	10.6	8.9
4 やや重要	17	46.8	17	10.6	24.5	36.2	38.3	27.7	26.7	29.8	25.5	15.6
5 大変重要	80.9	44.7	68.1	83	64.5	31.9	59.6	70.2	62.2	59.6	63.9	73.3

卒業生

	今現在、必要と思う能力要素 (%)											
	主体性	働きかけ力	実行力	課題発見力	計画力	創造力	発信力	傾聴力	柔軟性	状況把握力	規律性	ストレスコントロール力
1 重要でない	0	0	0	0	0	2.9	2.9	0	0	0	0	3
2 やや重要でない	0	0	0	0	0	2.9	0	0	2.9	0	0	0
3 普通	2.9	5.7	5.7	5.7	15.1	28.5	0	2.9	2.9	8.6	8.5	9.1
4 やや重要	11.4	51.4	20	11.4	18.2	42.9	40	25.7	32.4	25.7	28.6	9.1
5 大変重要	85.7	42.9	74.3	82.9	66.7	22.8	57.1	71.4	61.8	65.7	62.9	78.8

在学生

	今現在、必要と思う能力要素 (%)											
	主体性	働きかけ力	実行力	課題発見力	計画力	創造力	発信力	傾聴力	柔軟性	状況把握力	規律性	ストレスコントロール力
1 重要でない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2 やや重要でない	0	8.3	0	0	0	16.7	0	0	0	0	0	0
3 普通	0	8.3	41.7	8.3	0	8.3	0	0	27.3	16.6	16.6	8.3
4 やや重要	33.3	33.4	8.3	8.3	41.7	16.7	33.3	33.3	9.1	41.7	41.7	33.3
5 大変重要	66.7	50	50	83.4	58.3	58.3	66.7	66.7	63.6	41.7	41.7	58.4

2.1.2 卒業生が、社会人基礎力 12 能力要素以外に必要と考える能力について

社会人基礎力 12 能力要素の他に、就業(キャリア)の観点から必要と思われる能力について、特に社会人経験のある卒業生の回答を確認したい。

様々な回答があったが、以下のように社会人基礎力の 3 つの能力に基本的には分類できる。※原則として原文まま。

- (1) 前に踏み出す力(アクション)に分類される回答例
 - ・自ら率先して行動に移すこと。
 - ・個人ブランディングを高めること
 - ・自分の芯を貫くこと
 - ・周囲を気にせず自分のあり方を構築すること
 - ・恥を捨てられること ※躊躇せず行動に移せること(筆者追記)
- (2) 考え抜く力(シンキング)に分類される回答例
 - ・物事を深く考え理解し活用すること
 - ・自己分析すること
 - ・スケジュールを管理すること
 - ・タスクを管理すること
 - ・様々な知識を有し、様々な観点から取り組むこと
- (3) チームで働く力(チームワーク)に分類される回答例
 - ・人間性
 - ・責任感
 - ・挨拶など社会人としての礼儀作法
 - ・仲間を作る能力
 - ・プレゼンテーション能力
 - ・伝える相手の気持ちを考えること
 - ・相手を受け止め、受け入れ、学ぶ姿勢
 - ・協調性(苦手な人とも関われるコミュニケーション能力)
 - ・今誰がどういう行動を取っているかを観察する力
 - ・一生懸命に、そして丁寧にやる姿勢
 - ・臨機応変、アドリブ力、演技力
 - ・周囲を見て行動すること
 - ・物事を俯瞰的にみて、現状把握すること
 - ・情報収集力
 - ・常識を疑い、真偽を判断できること
 - ・メンタルタフネス
 - ・意見や不安をため込まないこと

(4) その他

教職に就いている卒業生が多いこともあり、次のような意見も多く見られた。

- ・相手のために怒れる(叱る)こと
 - ・相手の将来を考えて、何を身に付けさせるか見通せる力
- また、ICT の重要性から、PC など情報機器を使いこなす力も挙げられていた。

2.2 卒業生と在学生在が得意であると思う能力要素について

前に踏み出す力(アクション)については、卒業生のほうが「働きかけ力」を苦手と感じている者が多い。在學生と比べ、実社会での活動においてより現実的かつ効果的な働きかけを求められることが多くなったことが要因と想像できる。

考え抜く力(シンキング)は、在學生と比べ卒業生のほうが「課題発見力」を得意としていることがうかがわれる。逆に「創造力」については、上記「働きかけ力」と同様に、卒業生は実社会での経験からその重要性をさらに認識するとともに、自らの能力を高める必要性を感じていると思われる。

最後に、チームで働く力(チームワーク)であるが、在學生には「規律性」を苦手と回答した者はいなかった。これは、「健康・真面目・努力」に代表される本学学生を表しており、2018年度に本学地域交流センターで調査した「地域貢献活動・ボランティア活動と社会人基礎力⁴」結果と共通している。しかし、実社会では10%以上の卒業生が、「規律性」を苦手またはたいへん苦手と回答していることは興味深い。前述の経済産業省(2018)による企業が求める能力と、学生(全国)が既に身につけていると思う能力の乖離に通じると言える。

表2：能力要素別、得意・苦手分野

卒業生												
今の自分：得手・不得手 (%)												
	主体性	働きかけ力	実行力	課題発見力	計画力	創造力	発信力	傾聴力	柔軟性	状況把握力	規律性	ストレスコントロール力
1 たいへん苦手	0	5.9	2.9	0	0	14.3	5.9	0	0	0	2.9	17.6
2 苦手	2.9	47.1	11.4	20	25.7	14.3	20.6	5.8	5.7	8.6	8.9	17.6
3 普通	48.6	26.5	57.1	45.7	54.3	40	47.1	17.1	28.6	57.1	41.2	38.3
4 得意	37.1	17.6	20	25.7	20	25.7	23.5	57.1	57.1	31.4	29.4	5.9
5 たいへん得意	11.4	2.9	8.6	8.6	0	5.7	2.9	20	8.6	2.9	17.6	20.6

在學生												
今の自分：得手・不得手 (%)												
	主体性	働きかけ力	実行力	課題発見力	計画力	創造力	発信力	傾聴力	柔軟性	状況把握力	規律性	ストレスコントロール力
1 たいへん苦手	0	7.7	0	7.7	0	7.7	0	0	0	0	0	0
2 苦手	0	7.7	30.8	15.3	23.1	38.5	30.8	0	0	0	0	46.1
3 普通	30.8	15.4	7.7	30.8	46.1	23	38.4	38.5	23.1	41.7	38.5	30.8
4 得意	53.8	46.2	53.8	23.1	23.1	15.4	30.8	23	53.8	25	15.4	7.7
5 たいへん得意	15.4	23	7.7	23.1	7.7	15.4	0	38.5	23.1	33.3	46.1	15.4

2.3 SA 経験と勤労奨学生経験から培われた能力要素

回答者自身がSA 経験、勤労奨学生活動から社会人基礎力の12の能力要素がそれぞれ「培われた」と考えるかについて、総じて肯定的な回答が得られた。但し、前に踏み出す力、考え抜く力については、勤労奨学生活動における成長が著しい。同様に、チームで働く力においても、「状況把握力」「規律性」「ストレスコントロール力」の成長がうかがわれる。

勤労奨学生としての活動は、その所属部署および活動イベントにより様々であるが、全学的イベントであるオープンキャンパス、学部学科別および事務局部門主催の特別イベント、担当グループ別に準備から当日の運営と学生が主体的に取り組むものも少なくない。このような活動に主体的に取り組むことで、ある意味必然的に各能力要素が成長したと思われる。もちろん、SA 活動における活動も学生が主体的に取り組む内容であり、成長も著しく認められるが、こちらは、授業担当教員が授業運営するうえでのサポートが主であるため、この観点からの結果と言えるかもしれない。具体的にはどのような活動を通じて、社会人基礎力が育成されたかは、SA 経験・勤労奨学生経験別に、次項「SA 経験・勤労奨学生活動から社会人基礎力が培われた具体的活動(自由記述)」にて考察する。

表 3：SA 経験、勤労奨学生生活動別に培われた能力要素の比較

勤労奨学生ではない SA 経験者（SA 経験から培われた力）

	SA 経験から培われたと思う力（%）											
	主体性	働きかけ力	実行力	課題発見力	計画力	創造力	発信力	傾聴力	柔軟性	状況把握力	規律性	ストレスコントロール力
1 まったく培われなかった	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	12
2 培われなかった	4	0	8	8	8	8	4	0	4.3	0	0	12
3 普通	20	8	28	20	56	40	8	12	13	32	26	64
4 培われた	60	36	52	60	16	16	44	28	30.4	56	56	8
5 たいへん培われた	16	56	12	12	20	32	44	60	52.2	12	18	4

勤労奨学生（勤労奨学生生活動から培われた力）

	勤労奨学生全体を通して培われた力（%）											
	主体性	働きかけ力	実行力	課題発見力	計画力	創造力	発信力	傾聴力	柔軟性	状況把握力	規律性	ストレスコントロール力
1 まったく培われなかった	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2 培われなかった	0	0	4.3	0	0	4.5	4.3	0	0	0	0	4.3
3 普通	0	17.4	17.4	9.1	22.7	22.7	17.4	8.7	8.7	13	13.6	43.5
4 培われた	39.1	30.4	30.4	63.6	54.6	45.5	47.8	52.2	56.5	47.8	45.5	43.5
5 たいへん培われた	60.9	52.2	47.9	27.3	22.7	27.3	30.5	39.1	34.8	39.2	40.9	8.7

2.4 SA 経験と勤労奨学生経験から社会人基礎力が培われた具体的活動

SA 経験と勤労奨学生経験において、どのような具体的活動により社会人基礎力が育成されたか自由記述にて回答してもらった。※原則として原文まま。

2.4.1 SA 経験に関する具体的活動

大別して、以下の 2 点に集約される回答が多かった。

(1) 授業時の学生に対するファシリテータとしての役割

- ・学部学科が異なるだけでなく、様々な性格、考え方の学生がいるが、それぞれの学生がいかに主体的に授業に取り組むかを考え、工夫した。
- ・学生が理解していること、悩んでいることが皆異なるが、一人一人に寄り添って考え、サポートした。
- ・いろいろな学生の目線から一緒に考え、新たな価値観を見出し、様々な角度から考察した。

(2) 担当教員のサポーターとしての役割

- ・状況を確認しながら、教員に対してどのようなサポートが有効であるか考えた。
- ・授業担当教員だけでなく、担当職員との意見交換と調整を試みた。
- ・SA と学生の繋がり、SA と教職員とのつながりだけでなく、SA 同士の横のつながりも重要であった。

この他に、SA 同士でのミーティングで得たものが多いとする回答も複数あった。しかし、前項 2.3 にある勤労奨学生として培われた社会人基礎力の違いに関連する要因と考えられる、以下のような回答も散見された。

- ・授業の流れができていて、担当教員メインで授業が進むため、オープンキャンパス業務などと比べ主体的に取り組むことが少なかった。
- ・授業外での SA 同士の交流はあっても、基本的には自分が担当する授業が主であるため、SA 間でのチーム意識は持てなかった。

2.4.2 勤労奨学生経験に関する具体的活動

勤労奨学生の活動には、受動的に指示を受け動く業務もあるが、イベントの企画段階から従事するものも少なくない。特に回答者全員が、オープンキャンパスまたは入学前教育イベントについて言及している。この経験は、以下のように大別されるが、特にオープンキャンパスについては、勤労奨学生自身が企画、準備、運営、実施後の振り返りと PDCA サイクルで複数回に渡り経験していることから、社会人基礎力が大いに

培われたと理解できる。主な回答は、以下の通りである。※原則として原文のまま。

(1) 様々な人々との関わり

- ・ 勤労奨学生も主体となり、担当職員と一緒に企画運営した。
- ・ 他の勤労奨学生および担当職員と役割分担してイベントに臨んだ。
- ・ 普段は交わりのない様々な部署の教職員と一緒に活動できた。
- ・ 年代や考え方も多様な人々と交わることができた。
- ・ 多くの勤労奨学生とともに同じイベントに従事し、チームで働くことが経験でき、一体感を味わえた。
- ・ 特にオープンキャンパスでは、対応する相手が高校生だけでなく、その保護者対応もよい経験となった。
- ・ 活動によっては、近隣住民、市役所職員、警察官など学外の方々と連携することができた。

(2) PDCA サイクルにつながる業務経験

- ・ ゼロからの企画に参加できた。
- ・ 各種イベントでは、それぞれの役割があり、滞りなく機能することが円滑な進行に繋がることを学んだ。
- ・ 大規模なイベントでは、従事するスタッフも多く、リーダーに必要な力を学ぶことができた。
- ・ 事前事後の作業も含め、様々な人々と連携を取って進めることができた。
- ・ 問題点に対して自身で整理し、意見交換を踏まえて改善しつつ実践できた。
- ・ それぞれの役割から全体で意見交換し、互いの立場も理解しながら改善を図った。
- ・ 新規参入学生への指導を心がけた。
- ・ 業務内容等の改善案を担当職員に積極的に提案することができ、検討してもらえた。
- ・ 誰を対象に行うのか、何のために行うのか、どのように工夫したらよいかなどを考え、それぞれの立場で企画実施した。
- ・ (グループで活動するなかで) 指示する立場として、特に周囲のスタッフを盛り上げて実施し、事後振り返り次回の改善を検討した。
- ・ 対象者が満足したか、事後に振り返り、次回への改善策を模索した。

3. 今後の SA 活用に向けて

授業を実施するうえで、履修学生が何を学び、どのような知識と技能を修得し、その後の学びへどのようにつなげるかは重要である。その効果を上げるために、本授業では、教職協働および SA の活用がある。それと同時に、SA にとっても学びの場とすることも忘れてはならない。オープンキャンパスや勤労奨学生向けの各種スポット業務と異なり、授業は教員により主体的に実施されるが、SA 自身にも自ら考え行動する習慣を付けさせ、社会人基礎力の向上を図ることが望まれる。

今回のアンケート調査からは、勤労奨学生にとってオープンキャンパスや各種スポット業務など、企画といった準備段階から PDCA サイクルとして従事する活動では、より効果的に社会人基礎力が育成されると思われる。しかし、授業をサポートする SA 活動においても、SA に期待する活動をより SA 自身に考えさせ、現役学生の視点での効果的な授業に対する意見や更なる改善のための振り返りに参画させることも意義がある。このように、SA 活動自体を PDCA サイクルへ更に近づけることを念頭に置き、今後の SA 活用を積極的に検討したい。

以上

(別紙 1) 「自立と体験 1」 SA 経験者アンケート

【1】属性

1-1. 入学年度、及び自立と体験1をSAとして参加した年度
 入学年度()年度、 SA参加年度()年度

1-2. (卒業生対象)現在従事している職業の職種はなんですか？

<input type="checkbox"/> 営業職
<input type="checkbox"/> 経理
<input type="checkbox"/> 総務・人事
<input type="checkbox"/> 企画・管理
<input type="checkbox"/> 一般事務・アシスタント
<input type="checkbox"/> 販売・サービス職
<input type="checkbox"/> 専門職(コンサルタント、監査法人など)
<input type="checkbox"/> 金融系専門職
<input type="checkbox"/> 教員
<input type="checkbox"/> 公務員
<input type="checkbox"/> 技術職
<input type="checkbox"/> 医療系専門職
<input type="checkbox"/> クリエーター・クリエイティブ職
<input type="checkbox"/> その他 ()

1-3. SA体験時、勤労奨学生でしたか？

1-4. 勤労奨学生であった方は、所属部署を教えてください。

【2】卒業生(SA経験者)が重要と思う社会人基礎力

2-1. 今現在、就業(キャリア)の観点から、以下の各要素がどの程度重要であると考えますか。

※各要素の5段階評価 (5 大変重要、4 やや重要、3 普通、2 やや重要でない、1 重要でない)

<input type="checkbox"/> 主体性：物事に進んで取り組む力
<input type="checkbox"/> 働きかけ力：他人に働きかけ、巻き込む力
<input type="checkbox"/> 実行力：目的を設定し、確実に行動する力
<input type="checkbox"/> 課題発見力：現状を分析し、目的や課題を明らかにする力
<input type="checkbox"/> 計画力：課題の解決に向けたプロセスを明らかにし、準備する力
<input type="checkbox"/> 創造力：新しい価値を生み出す力
<input type="checkbox"/> 発信力：自分の意見を、分かりやすく伝える力
<input type="checkbox"/> 傾聴力：相手の意見を、丁寧に聴く力
<input type="checkbox"/> 柔軟性：意見の違いや立場の違いを理解する力
<input type="checkbox"/> 状況把握力：自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力
<input type="checkbox"/> 規律性：社会のルールや人との約束を守る力
<input type="checkbox"/> ストレスコントロール力：ストレスの発生源に対応する力

2-2. 今現在、就業(キャリア)の観点から、上記2-1. の能力要素以外に社会人にとって必要であると思う能力があれば、教えてください。

回答欄(自由記述):

【3】卒業生(SA経験者)の現在の得意分野・苦手分野

3. 現在のご自身にとって、得意または苦手な思う程度をお答えください。

※各要素の5段階評価 (5 たいへん得意、4 得意、3 普通、2 苦手、1 たいへん苦手)

<input type="checkbox"/> 主体性：物事に進んで取り組む力
<input type="checkbox"/> 働きかけ力：他人に働きかけ、巻き込む力
<input type="checkbox"/> 実行力：目的を設定し、確実に行動する力
<input type="checkbox"/> 課題発見力：現状を分析し、目的や課題を明らかにする力
<input type="checkbox"/> 計画力：課題の解決に向けたプロセスを明らかにし、準備する力
<input type="checkbox"/> 創造力：新しい価値を生み出す力
<input type="checkbox"/> 発信力：自分の意見を、分かりやすく伝える力
<input type="checkbox"/> 傾聴力：相手の意見を、丁寧に聴く力
<input type="checkbox"/> 柔軟性：意見の違いや立場の違いを理解する力
<input type="checkbox"/> 状況把握力：自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力
<input type="checkbox"/> 規律性：社会のルールや人との約束を守る力
<input type="checkbox"/> ストレスコントロール力：ストレスの発生源に対応する力

【4】SA活動／勤労奨学生活動で培われた能力および具体的な取り組み

4-1. 自立と体験1のSA活動において、以下の各要素がどの程度培われたと思いますか。
 ※各要素の5段階評価 (5 たいへん培われた、4 培われた、3 普通、2 培われなかった、1 まったく培われなかった)

前に踏み出す力 (アクション)

<input type="checkbox"/> 主体性: 物事に進んで取り組む力
<input type="checkbox"/> 働きかけ力: 他人に働きかけ、巻き込む力
<input type="checkbox"/> 実行力: 目的を設定し、確実に行動する力
「前に踏み出す力」が培われたと思う具体的な活動・経験について(自由記述)
(注)なるべく具体的な場面や活動を挙げて回答してください。

考え抜く力(シンキング)

<input type="checkbox"/> 課題発見力: 現状を分析し、目的や課題を明らかにする力
<input type="checkbox"/> 計画力: 課題の解決に向けたプロセスを明らかにし、準備する力
<input type="checkbox"/> 創造力: 新しい価値を生み出す力
「考え抜く力」が培われたと思う具体的な活動・経験について(自由記述)
(注)なるべく具体的な場面や活動を挙げて回答してください。

チームで働く力(チームワーク)

<input type="checkbox"/> 発信力: 自分の意見を、分かりやすく伝える力
<input type="checkbox"/> 傾聴力: 相手の意見を、丁寧に聴く力
<input type="checkbox"/> 柔軟性: 意見の違いや立場の違いを理解する力
<input type="checkbox"/> 状況把握力: 自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力
<input type="checkbox"/> 規律性: 社会のルールや人との約束を守る力
<input type="checkbox"/> ストレスコントロール力: ストレスの発生源に対応する力
「チームワークで働く力」が培われたと思う具体的な活動・経験について(自由記述)
(注)なるべく具体的な場面や活動を挙げて回答してください。

4-2. (勤労奨学生経験者対象)勤労奨学生の活動全体を通して、以下の各要素がどの程度培われたと思いますか。
 ※各要素の5段階評価 (5 たいへん培われた、4 培われた、3 普通、2 培われなかった、1 まったく培われなかった)

前に踏み出す力 (アクション)

<input type="checkbox"/> 主体性: 物事に進んで取り組む力
<input type="checkbox"/> 働きかけ力: 他人に働きかけ、巻き込む力
<input type="checkbox"/> 実行力: 目的を設定し、確実に行動する力
「前に踏み出す力」が培われたと思う具体的な活動・経験について(自由記述)
(注)なるべく具体的な場面や活動を挙げて回答してください。

考え抜く力(シンキング)

<input type="checkbox"/> 課題発見力: 現状を分析し、目的や課題を明らかにする力
<input type="checkbox"/> 計画力: 課題の解決に向けたプロセスを明らかにし、準備する力
<input type="checkbox"/> 創造力: 新しい価値を生み出す力
「考え抜く力」が培われたと思う具体的な活動・経験について(自由記述)
(注)なるべく具体的な場面や活動を挙げて回答してください。

チームで働く力(チームワーク)

<input type="checkbox"/> 発信力: 自分の意見を、分かりやすく伝える力
<input type="checkbox"/> 傾聴力: 相手の意見を、丁寧に聴く力
<input type="checkbox"/> 柔軟性: 意見の違いや立場の違いを理解する力
<input type="checkbox"/> 状況把握力: 自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力
<input type="checkbox"/> 規律性: 社会のルールや人との約束を守る力
<input type="checkbox"/> ストレスコントロール力: ストレスの発生源に対応する力
「チームワークで働く力」が培われたと思う具体的な活動・経験について(自由記述)
(注)なるべく具体的な場面や活動を挙げて回答してください。

【5】大学メールの利用頻度

5. 現在、明星大学メール(.....@stu.meisei-u.ac.jp)を利用する頻度等をお答えください。
 ※頻度 (5 別のメールアドレスに転送し、ほぼ毎日、4 ほぼ毎日た、3 週一回程度、2 月一回程度、1 2、3か月に一回程度以下)

注

- 1 経済産業省(2010).「大学生の「社会人観」の把握と「社会人基礎力」の認知度向上実証に関する調査」<https://selectra.jp/sites/default/files/pdf/201006daigakuseinosyakaijinkannohaakutoninntido.pdf> (閲覧日:2020年12月13日)
- 2 経済産業省産業人材政策室(2018).「人生100年時代の社会人基礎力について」https://www.meti.go.jp/committee/kenkyukai/sansei/jinzairyoku/jinzaizou_wg/pdf/007_06_00.pdf(閲覧日:2020年12月13日)
- 3 SAは、学内の「勤労奨学生」として働く学生と、公募によって選出された学生とがいる。
- 4 明星大学地域交流センター(2018).「地域貢献活動・ボランティア活動と社会人基礎力」<https://www.meisei-u.ac.jp/support/180508shosai.pdf> (閲覧日:2020年12月13日)